

小和田地区まちぢから協議会 新宿地区まち歩き 活動報告

＜実施日時＞2020年10月1日(木) 10時～11時40分

＜参加者＞14名

まち協:新倉(昭)、雫石、宗田、香山、日比、森谷、山下、澤本、野田、中川

こわだ会:川原、武本

安全対策課:宮地、瀬口

＜活動内容＞

新宿自治会を実際に歩き、危険個所の確認や防災、防犯の観点も含め、周辺自治会との境界を確認する。

今回は平成26年に作成した「和田まるごとマップ」をベースに、2班に分かれて「まち歩き」をおこなった。



＜参加者の感想＞

○今回、実際にまち歩きをおこない、隣接自治会との境界線や危険個所を確認する事ができた。平成26年発行の地図とはかなり違っており、「マップ」の改定時期にきているのかなと感じた。

○複雑で細い道が多く見られ車で入ると迷い抜け出しにくく感じた。飛び出し注意の看板もよく見られた。自転車では便利な脇道もあったり、この道がここに繋がるなど発見でした。

防災の面では地域の人たちの協力が鍵にもなる気がしました。

○本宿と新宿との自治会・境は持っていた地主の畑で区別された部分も多く、ここに来て新しく入居されたアパートなどでは、隣が本宿であったり、新宿だったりするわけで、防災の立場から、近隣の連携が図りづらいのだろうと思いました。

特に代官町の区分けに関して、今後課題があるように感じました。

○小和田地区の地域の方を中心として、このような街歩きをすることで地区としての危険箇所や交通安全にも係わる箇所の発見ができ、市の中でも先進的な試みだと感じました。

自治会の境目などは、実際に歩かないとわからない点だと感じておりますし、実際に歩いて自分の地域を見つめ直すいい活動だと思いました。

今後もこのような活動を続けていくことで、新たな発見や交通安全・防犯的な観点で様々な対策などを考えられればと感じております。

○小和田2丁目(上正寺から熊野神社に向かう道)の資材置き場

資材が道にはみ出していたり、金属製資材の角が道側に向いていたり、危険な時があるので、通行には注意が必要です。

○代官町6の三叉路 カーブミラーが見えない時がある。台風の後などは曲がってしまう事がある。道幅が狭く、救急車が曲がれない。

また、車一台分の道幅しかないので、子供達は道幅の広い所や、駐車場、近隣住宅の玄関先に退避して車をやり過ごして通行している現状を、私から説明しました。

また、空き地に塀が残されている件についても、川原さんから聞いていた内容(建物を建てる際には撤去し、セットバックする)を説明しました。

町内会が住居表示とは無関係に、新宿、本宿、小和田、菱沼と分かれていて、本当に分かりづらいと思いました。

又、学校の通学区域(代官、本宿、赤羽根、とかの区域分け)も、町内会の分け方と違っていて、個人的に益々混乱しました。なので、代官町6の三叉路も、町内会的には本宿町域内でした。

この先、校外委員が地域との窓口を行う上で、町内会への対応が複雑になりかねないな、と感じました。

○自治会の境界線が想像以上に入り組んでいて、役員も大変だし住民も混乱するだろうなと思いました。上赤もそうですが、昔からあった道がいつの間にか通れなくなっていることもあるようで、土地の区分って意外とあいまいでいい加減なんだなと驚きました。